

製品名: ユビキチン (7F2) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM00890**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Refer to figures

抗原情報

遺伝子名	UBB
別名	FLJ25987; MGC8385; ubiquitin B; Ubiquitin; UBCEP1; UBCEP2; RPS27A
遺伝子 ID	7314
SwissProt ID	P0CG47
免疫原	ヒトユビキチンの合成ペプチド

背景

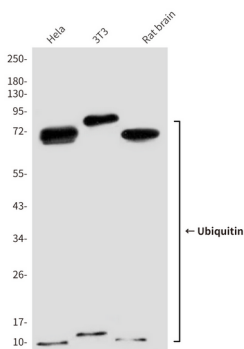
ユビキチン-プロテアソーム経路において重要な役割を果たします。ユビキチンは、ユビキチン化プロセスによって多くの細胞タンパク質と共有結合し、26S プロテアソームによる分解の標的タンパク質となります。標的タンパク質とユビキチンの結合プロセスに

は、3つの要素が関与しています。ユビキチンはまず活性化要素 E1 とチオールエステル複合体を形成することで活性化されます。活性化されたユビキチンは次にユビキチンキャリアタンパク質 E2 に転移し、E2 からユビキチンリガーゼ E3 へと運ばれ、最終的に標的タンパク質のリジン残基のイプシロン NH2 へと輸送されます。

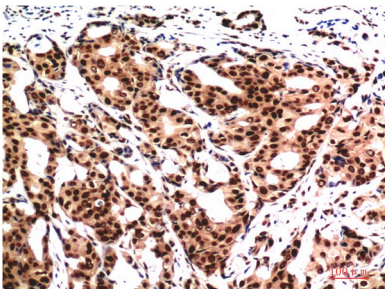
研究分野

神経科学

画像データ



ユビキチン抗体を使用した、Hela 溶解物、3T3 溶解物、ラット脳溶解物中のユビキチン (7F2) のウエスタンブロット分析。



ユビキチン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。